

盧象昇

状態の地味が新多くあると思ひます。又例と
 いたしちりやまこのより地味に今後ほたいに力を
 入れるべきだと思ひます。この点にこそ市長の所信
 とお願ひするものでございります。また新しい道路に
 好まはるは今ほかります。つぎにぬけると思われ
 地味の道路にならば、地主もけ発展の二とを
 思ふおつたのでございります。地主の協力を得て積
 極的に進行するべきでございります。無計画に家を
 建てるばかりではだにやない学校前の地味のように二
 とを繋ぎ返さなければならいと思ひます。い
 又通整理された地区との格差はますますく
 りくばかりでございります。この点も合せて市長の所信と
 お願ひするものでございります。二番目といたしちりや
 ま、停車場の両端を先きほ
 びいろ／＼大改修ありあるいは大改修あり改修あり

福生町議 会

であつた二とケグル点もあると思ひます。か
 くのようござへん頼にたいと思ひます。
 福生はけの名物のエタ祭りには福生はけ商店街の
 花もあり、祭りもあると思ひます。年々成長
 を保ち保ることは住民の喜びとするところであり
 ます。駐車場、交通に因るは警察、交通完全
 組合等の協力を得てきたことの無事故と安全は
 、は当局の配慮に感謝すると思ひます。
 しかしながら平常の福生はけ商店街にはおるま
 判の声は非常に多いのであります。特に買物に
 いくにもあるいは用事にいくにも駐車場が不足し、銀座
 通り、中央商店街ではまったく落ちつきを買物
 もできず、福生には非常にゆきづらなところと思ひ
 ます。おそれながら、その点上
 におき、三、四の耳に伝へるものであります。その点上
 リには、三、四の耳に伝へるものであります。その点上
 と三百台以上の車があり、おそれながら、その点上

かあるといふあります。最近には王子方面の客車下り
であります。ふえくいるといふお話しを聞いています。当分
あるといふイメージの賜物と聞いています。客車場か
の未曾有の発展の中に福生商店街の発展も手
に将来を約束されると思っております。この周辺のお
客さんか王子あるいは王子に集まるよう
二とがあるはずは十分に集会を極めると思っております。
駐車場が商店の発展につはるというも沢々
過言をば言ひと思ひます。福生けとそおその土地
の問題には甚難か多いと思ひます。二の王子は
問題ばかりは考慮されてあるかどうか、その
点をお願いするものでござります。お民の集まり
に王子を幸いゆえ、一の道路かいお民の定連
これや一の学校の西側に通するのといふ学校の校庭
の下で地下駐車場を設置するは——と申し立てるこ

ごいす。法的に二かか静めるものか、おち
ろん児童の危険防止にこそは安全を期さなければ
おぼろしいと思ひますが、二の点に銀座通り側の
方にも適用されると思ひますが、とにかく駐車場
にこそはお民の声をきき福生けの発展にふはかる
ものと思ひます。その点にけ長の所信をお伺いした
と思ひます。

以上で私の發言を終ります。

議長(村匠雄) 石川市長

(市長(石川常下) 登壇)

議長(石川常下) 村田議員さんの二質問に二答を

申し上げます。

お一点でございますが、道路が十分に舗装ま
して、お民各位に大変不便をかけるありま
す。原因は財政でござります。やむに
義務的の建設を早くする事でござります。おちといふのか

子で防犯官、横田基地が二枚を奥施しするものか
 いうか、二の点にフソは長手今後二の輸送機が多
 数の発着に好するに補之をこのより好抗議文を
 する、あるいは態度でも二枚に好知さるのか
 か、二の三点にフソ明確なる回答を求めらる
 ことなり。

福生町議会

算定基準にしようとする。また
工作物に於ては、子と四億という数字にあつた
算定額は十九億五千七百四十三年度の交付金に
数字にほそありたり、四十三年年度の交付金に
つきとも三千五百六十二万四千四百五十円に
全額の算定交付金の予算額の百分の十。
を支給額とし、その半で二億二千五百
百万という交付金とその数字に根拠のない
止というか、昭和二十三年の交付金は、
という意味で一千万を越した三千万六千二百
円というの、四十三年年度の算定交付金の全額
が、このときも、その半で二千万六千二百
万円の子供をたす一千万円以下に下りてくる。
この例をみても、いかに算定をもつかが重要で
けしきにすぎない。二十二年間を過ぎるかと
うしよとを痛感するものではない。

